



## 脳神経内科 (脳卒中センター)



## スタッフ紹介

医師名【役職】	出身大学/取得年	専門分野	資格等
とくと かずき <b>徳元 一樹</b> 【脳神経内科部長・ 脳卒中センター部長兼務】	高知医科大学 1997年	神経疾患全般 特に脳血管障害	日本内科学会：指導医・総合内科専門医・認定内科医 日本神経学会：指導医・専門医 日本脳卒中学会：専門医
にしお もとのぶ <b>西尾 元伸</b> 【副部長】	産業医科大学 1999年	神経疾患全般、 特にボツリヌス 治療、 神経変性疾患	日本内科学会：認定内科医 日本神経学会：指導医・専門医 日本医師会：産業医
とめなが たかふみ <b>留永 嵩文</b> 【副医長】	大阪市立大学 2019年		



## 脳神経内科の特色

- 2023年度より、4名体制(指導医・専門医3名)となりました。
- 急性期脳血管障害、神経変性疾患(パーキンソン病など)、認知症、発作性疾患(てんかんなど)、不随意運動性疾患(ふるえなど)、脊髄疾患、末梢神経疾患、筋肉疾患などの診断・治療を実施しております。
- 各種診療科と連携し、最適な治療を推進しています。
- 専門外来として、[ボツクス外来](#)(脳梗塞後四肢痙縮・眼瞼・顔面痙攣に対するボツリヌス治療)を実施しております。
- 神経疾患全般の治療のみならず、予防医学促進にも積極的に取り組んでおります。
- 2014年4月より、[日本認知症学会教育施設](#)に認定されました。  
2017年4月より、[日本神経学会脳神経内科教育病院](#)に認定されました。  
2017年4月より、[日本臨床神経生理学会教育施設](#)に認定されました。



## 2023年 脳神経内科 診療実績

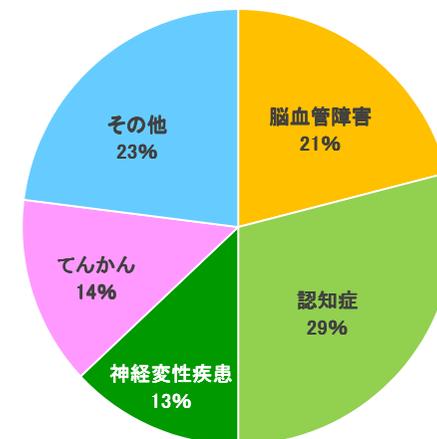
■外来受診患者総数  
1907名

■疾患別患者数

脳血管障害 400名  
認知症 529名  
神経変性疾患 226名  
てんかん 250名  
その他 418名

(感染症、変形性脊椎症、  
末梢神経障害、運動神経疾患、  
神経免疫疾患等)

外来疾患内訳とその比率



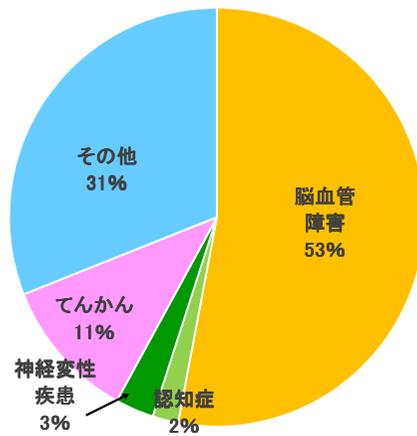


■新入院患者総数  
234名  
■平均在院日数  
19.6日

■疾患別患者数  
脳血管障害 127名  
認知症 4名  
神経変性疾患 5名  
てんかん 26名  
その他 72名

(感染症、変形性脊椎症、  
末梢神経障害、運動神経疾患、  
神経免疫疾患等)

新入院疾患内訳とその比率



1. 画像検査: 頭部・頸部・腰部などの、単純レントゲン、CT、MRI、MRA
2. 神経生理学的検査: 頭皮上脳波、体性感覚・視覚・聴覚誘発検査  
聴性脳幹反応、針筋電図、誘発筋電図
3. 核医学検査: 脳血流シンチSPECT、DATscan、MIBG心筋シンチ
4. 動脈硬化測定ABI (TBI)、頸動脈ドップラー検査
5. 髄液検査
6. 神経心理学的検査